

みずほCustomer Desk Report 2023/02/17号(As of 2023/02/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	134.15
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	133.90	1.0693	143.18	1.2040	0.6908
SYD-NY High	134.46	1.0722	143.41	1.2074	0.6937
SYD-NY Low	133.61	1.0655	142.87	1.1966	0.6841
NY 5:00 PM	133.95	1.0674	142.95	1.1987	0.6880

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,696.85	▲ 431.20	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	11,855.83	▲ 214.76	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	4,090.41	▲ 57.19	米国2年債	4.6422%	0.0102%
日経平均	27,696.44	194.58	米国5年債	4.0736%	0.0395%
TOPIX	2,001.09	13.35	米国10年債	3.8618%	0.0599%
シカゴ日経先物	27,520.00	▲ 115.00	独10年債	2.4735%	▲0.0040%
ロンドンFT	8,012.53	14.70	英10年債	3.4980%	0.0150%
DAX	15,533.64	27.30	豪10年債	3.7620%	0.0010%
ハンセン指数	20,987.67	175.50	USDJPY 1M Vol	12.99%	▲0.33%
上海総合	3,249.03	▲ 31.46	USDJPY 3M Vol	12.43%	▲0.17%
NY金	1,851.80	6.50	USDJPY 6M Vol	11.62%	▲0.09%
WTI	78.49	▲ 0.10	USDJPY 1M 25RR	▲0.97%	Yen Call Over
CRB指数	270.25	▲ 0.13	EURJPY 3M Vol	11.73%	▲0.19%
ドルインデックス	103.86	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	11.31%	▲0.15%

東京	東京時間のドル円は133.90レベルでオープン。仲値にかけて実需の買いもあり東京時間高値となる134.16を付ける。その後は1月初旬以来の高値圏に推移していたこともあり売りが優勢となると133円台半ばまで下落。午後にかけては堅調な日経平均株価も下支えとなり、じりじりと値を上げると、オープンと同水準の133.93レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.93レベルでオープン。欧州時間は材料難で動意薄。133.61-134.00円で取引され変わらずの同水準の133.90レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0704レベルでオープン。フランス株が史上最高値を更新する中ユーロ圏の長期金利も上昇するがユーロの反応はいまいち。1.07を挟んだもみ合いとなり1.0694レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台前半でスタート。週初から約3円上昇していることや、米長期金利が伸び悩んだことを受けてドル売り優勢となり、一時133.61まで下落。複数の米経済指標発表を控え、様子見ムードが広まる中、その後は134円手前でレンジ推移が続き、133.90レベルでNYオープン。朝方はインフレの先行的な指数として注目されている米1月PPIが予想を上振れたことから高インフレが長期化するとの懸念が再燃し、米金利上昇とともにドル買いで反応。また、マスター・クリーブランド連銀総裁の効派色の強い発言もあいまって高値の134.46をつけるが、買い一巡後、133.70近辺まで反落。午後は上値重い推移でスタートするが、ブラード・セントルイス連銀総裁が「3月に50bpの利上げ支持の可能性を排除しない」と述べたことからドル買いで反応し、一時的に134.02まで急伸。終盤は134円手前で小動きとなり、結局、133.95レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.0700を挟んだ狭いレンジで推移し、1.0694レベルでNYオープン。朝方は米PPIの結果にドル買いで反応したことから1.0655まで下落。午後にかけて1.0700手前まで値を戻すも、ブラード氏の発言を受けてドルが買われ、1.0670近辺まで反落。結局、1.0674レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西

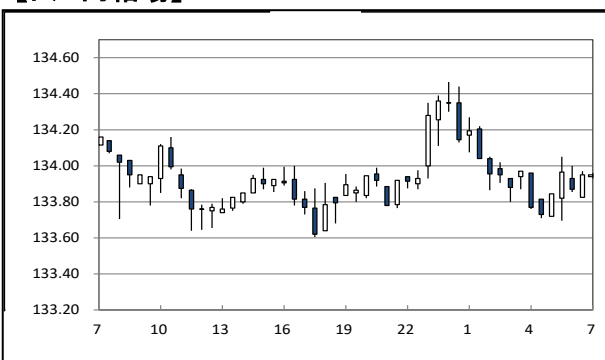
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月16日	08:50	日 貿易収支	1月 -¥3496.6b	-¥3976.7b
	09:30	豪 雇用者数変化	1月 -11.5k	20.0k
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	1月 0.7%/6.0%	0.4%/5.4%
	22:30	米 住宅着工件数	1月 1309k	1356k
	22:30	米 住宅建設許可件数	1月 1339k	1350k
	22:30	米 新規失業保険申請件数	11-Feb 194k	200k
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	2月 -24.3	-7.5
	22:45	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	前回FOMCでは50bp利上げの根拠あった
2月17日	03:30	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	3月FOMCでの50bp利上げ支持の可能性を排除しない

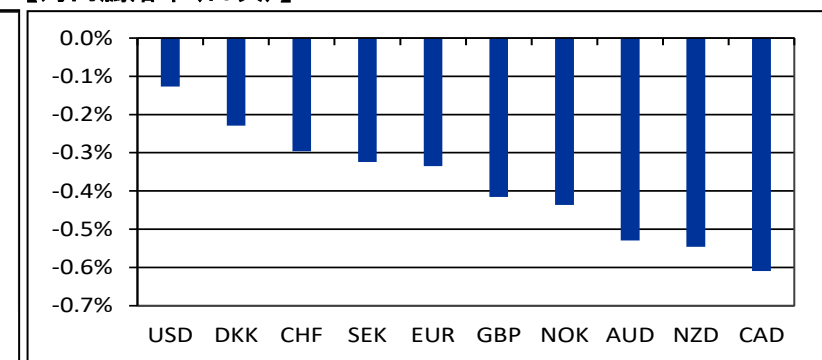
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月17日	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	1月 -	-0.4%/21.6%
	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	1月 -0.2%/-5.4%	-1.1%/-6.1%
	22:30	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.00-135.00	1.0600-1.0700	142.00-143.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は一時134円台半ばまで上昇する局面もあったが、基本的に134円手前を中心に方向感なく推移。東京時間のドル円は133.90レベルでオープン後、仲値にかけてドル買い局面もみられたが、一巡後は134円を割り込み方向感なく推移。米国時間、米1月PPIが予想比上振れると米金利上昇の流れにドル買いで反応。メスター総裁のタカ派発言もあり134.46まで上昇。一服後133.70まで下落するも、ブラード総裁が次回FOMCでの50bp利上げに言及するとドル買い優勢となり、再び134円台を付け、133.95レベルでクローズした。本日は、134円付近でのレンジ相場を予想。米PPIや米金利上昇を背景に134円台半ばまで上昇するも、135円を前に上値の重さが意識されている。週初から急ピッチで3円ほど上昇していることから、調整局面かと思われる。本日もFed高官の講演が予定されていることから、Fedのタカ派化・インフレ長期化を意識したドル買いには警戒が必要だ。